

姉妹友好都市のこれまでとこれから

文化振興課 図224・5506

海外の姉妹都市紹介

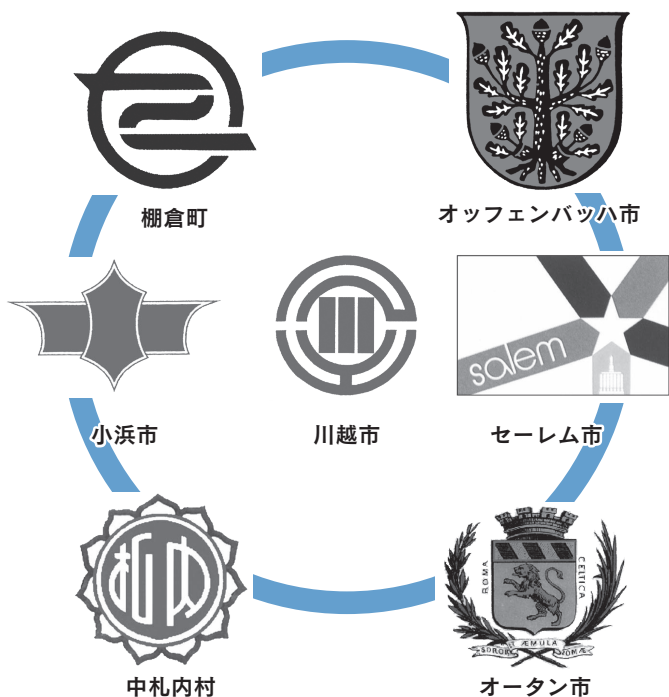
川越市は現在、国内外の6つの都市と姉妹友好都市の提携を結んでいます。交流の分野は、文化・教育・青少年・スポーツ・経済などさまざまです。これまでにとくさんの事業が行われ、多くの市民によって交流が行われています。

市が姉妹友好都市の提携をしているのは、海外ではオッフエンバッハ市(ドイツ・ヘッセン州)、セーレム市(アメリカ・オレゴン州)、オータニ市(フランス・ブルゴーニュ州)の3都市、国内では棚倉町(福島県)、小浜市(福井県)、中札内村(北海道)の3都市です。

これまでに、オッフエンバッハ市とは商工会議所間の経済交流、ライオンズクラブ間の交流など、セーレム市とは、市民訪問団の相互派遣や市立川越高校とノースセーレム高校との姉妹校事業などを行い、オータニ市とは、現地で行われた「オータニにおける川越年・日本年」に協力する

などしてきました。また、海外姉妹都市へは、市内のロータリークラブの支援もあり、これまでに22回、374人の中学生を派遣しました。棚倉町とは、剣道やゴルフなどのスポーツ交流が行われているほか、川越藩火縄銃鉄砲隊保存会が棚倉城まつりに参加するなどしました。小浜市とは、石原ささら獅子舞と雲浜獅子の交流などが実施されました。中札内村とは、中学生の相互訪問事業などを行っています。

姉妹友好都市の市町村章



また、市の産業博覧会には、国内の姉妹友好都市のブースが設けられ、毎年賑わいを見せています。そのほか川越市姉妹都市交流委員会が中心となり、市民訪問団の派遣や交流など、市民が参加できる交流事業を実施しています。これからも姉妹友好都市との絆を強めていくことで、文化交流を推進し、相互理解を深める取り組みを行います。

オータニ市



オータニ市の町並み

平成14年10月18日姉妹都市提携。人口約1万8,000人、面積61.52km²。ローマ皇帝アウグストゥスの命により築かれ、2000年に及ぶ歴史があります。現在も往時の城壁やサンタンドレ門、円形劇場、サンラザール聖堂など歴史を感じさせる建造物が街に点在しています。



セーレム市



オレゴン州議会会議事堂

昭和61年8月1日姉妹都市提携。人口約12万人、面積115km²。ウィラメット盆地の温暖な気候は農作物の生産に適し、農業が重要な産業です。食品加工業も盛んで、年間900万ケースの缶詰や20万tの冷凍食品を生産。全米都市協会から2度全米都市賞を受賞しています。



オッフエンバッハ市



ビューズイング宮殿

昭和58年8月24日姉妹都市提携。人口約11万1,000人、面積45.24km²。歴史は古く、街のあちこちに往時の姿をほうふつとさせる建造物が散在しています。総人口のうち約30%は外国人。街の雰囲気は明るく、開放的なところが魅力です。伝統的な皮革産業が有名です。



姉妹友好都市サミット2012開催

10月19日、市制施行90周年を記念して、姉妹友好都市提携を結ぶ都市の市町村長や関係者と川合善明川越市長が「未来のまちづくり 子どもたちにつなげていきたいこと」をテーマに発表を行いました。サミット後の交流会では、これまでに交流事業に参加した人が懐かしい顔を見つけ、会場のおちろこちろで楽しく歓談する様子が見られました。



サミットでは姉妹友好都市間での交流と相互理解を深めるため「共同宣言」を発表しました。写真左から立原雅夫川越市姉妹都市交流委員会代表、高橋久雄オータン市名誉市民、フランソワ・グロース ユルスリーヌ国際文化センター事務局長（オータン市）、アーサー・バーマン セレム市議会議長、リンダ・ノリス セレム市市政担当官、チャック・ベネット セレム市議会議長、川合善明川越市長、小野澤康弘川越市議会議長、田村光義中札内村長、松崎晃治小浜市長、湯座一平棚倉町長。オッフエンバッハ市のホルスト・シュナイダー市長とセレム市のアンナ・ピーターソン市長からはビデオメッセージ、オータン市のレミー・ルベロット市長からは親書が届きました。



パーカッション演奏やチアダンスも披露され、会場は盛り上がりしました。



中札内村



相原求一朗美術館

平成14年11月30日友好都市提携。人口約4,100人、面積292.69km²。国内有数の清流、札内川流域に広がる村で、豊かな自然に恵まれています。基幹産業は農業、畜産業。帯広空港から約10分、首都圏から約

120分という利点を生かし、企業誘致に積極的です。



小浜市



蘇洞門(そとも)

昭和57年11月30日姉妹都市提携。人口約3万1,400人、面積232.87km²。数多くの文化遺産が散在し、1200年にわたり行われている「お水送り」などの神事も伝えられています。自然も豊かで、基幹産業である水産業をはじめ

若狭塗箸、若狭めのう細工等の伝統産業が盛んです。



棚倉町



棚倉城跡

昭和47年1月18日友好都市提携。人口約1万5,000人、面積159.82km²。丹羽長重が築いた棚倉城を頂く城下町で、古くから政治、交通の要所として栄えました。周囲を山に囲まれ、林業や農業が主な産業です。「ルネサンス棚倉」

では、さまざまなスポーツを楽しめます。



国内の姉妹友好都市紹介